

宇陀けあネットってどんなもの？

こんなことで困っていませんか？



- ・住み慣れた地域で健康に暮らしたい。でも病気や介護が不安・・・
- ・新しい先生に今までの治療や検査結果を伝えられない・・・
- ・救急で運ばれたときに持病が説明できない・・・
- ・服用している薬のことを違う先生やケアマネジャーに説明できない・・・
- ・災害で自分のカルテがなくなってしまうのか心配・・・
- ・災害時、避難先の病院でも同じ治療を受けたい・・・



宇陀けあネットがあると！！



- ・自身で説明できなくても、病状や治療が正確に分かる
- ・「重複した薬」や「飲み合わせ」、「薬の量」がすぐに分かる
- ・介護施設では、利用者のかかりつけ医や健康状態がすぐに分かる

多職種間で

顔の見える関係に

宇陀けあネットを利用することにより、インターネット上で医療と介護の関係者が、必要な時に必要な情報を即座に閲覧することが可能となります。

これにより、宇陀けあネットに加入している病院、診療所、薬局等の医療機関と介護事業所で情報を共有することが可能となり、住民の方が説明できない場合や、救急で運ばれて意思が確認できない患者さんでも、今までの病状、検査結果、飲んでいる薬等の治療経過や治療結果、介護サービスの利用状況などを正確に確認することが出来ます。

また、事業所間で24時間、質問やそれに対する回答を行うことが可能で、コミュニケーションの手段としても利用でき、多職種間の距離が縮まり、顔の見える関係でサポートを行うことが可能となっています。

地域生活のささえを ささえる

宇陀けあネット

宇陀けあネット

無料！

参加お申込み受付中

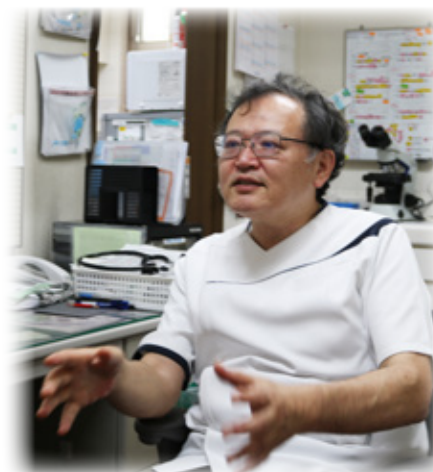
地域の方の生活をささえるための地域包括ケアシステム。このつながりをより強くするため導入された宇陀けあネット。現在その活用が進められています。

運営協議会代表理事
加藤久和先生（加藤クリニック）に聞く

奈良県の医療・介護連携ICTモデル地区として
▼宇陀けあネット導入のきっかけは？

平成28年に奈良県が募集した、「地域医療・介護連携ICT導入推進事業試行モデル地区」からはじまっています。宇陀市はそのモデル地区となり、ネットワーク導入に向けて、地域で従事する医療介護者、300人を超える方々の参加による検討会議で、この仕組みを考えてきました。

▼宇陀けあネットとは具体的にどのようなものですか？
皆さんに医療や看護、介護サービスを提供するにあたり、医療介護者の中で、お互いの持つ情報をインターネットを通じて、迅速、確実かつ安全に、共有するための仕組みの一部です。これにより、医療介護者がより連携して、包括的なサービスの提供が進められることを期待しています。



地域の方の生活を守る

▼導入の目的は何ですか？

宇陀地域は、限られた医療介護資源のなか、そこに従事する方々で、地域の医療と介護をどのように推進していくかを日々検討しています。それが、宇陀地域での更なる「地域包括ケアシステム」の推進です。宇陀けあネットを活用

して、医療介護従事者のネットワークをどこまで大きくしていくことにより、医療介護サービスの充実を図り、この地域の生活支援の基礎づくりを進めていくことで、そこで暮らし続けたい人々の生活を守りたいと考えています。

▼住民の皆さんができることはありますか？
ネットワークを有効に活用するためには、多くの情報が必要です。宇陀地域では、ほとんどの医療施設（診療所・病院）、看護関係（訪問看護）、薬局、介護施設および介護サービス事業所がネットワークに参加しています。

あとは、多くの住民の方々が、参加していただくことにより、地域の医療介護の連携がより深まり、皆さんへより良い医療・看護・介護・福祉の提供が可能となります。

「宇陀けあネット」をもっと知っていただき、ぜひ参加してください。



地域包括ケアシステムと宇陀けあネット

地域の方の生活をささえる仕組み



特別養護老人ホーム 室生園

介護施設

入所者の安心安全な生活のため、健康状態が変化した時など、施設外の医療介護従事者の方々と連携して、サービスを提供する時には、大きな役割を果たしていると実感しています。



四つ葉のクローバー

デイサービス

利用者の状況を事前に確認できること、また、医療関係の方へ状態を伝えることが便利になり、利用者の方により良いサービスができるようになりました。



大宇陀ラガール

訪問介護

利用者の状況がよくわかり、また、その利用者の関係する方々とのコミュニケーションがとれるため、顔の見える関係が深まりました。



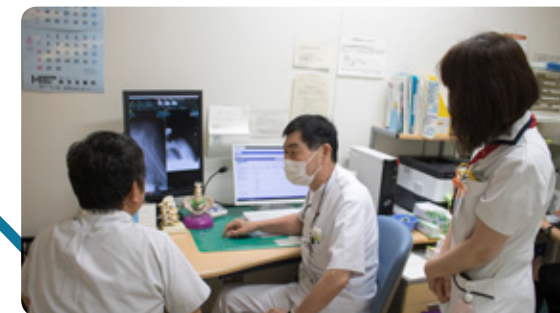
榛見が丘歯科クリニック

歯科診療所

訪問診療時には、多職種の方々との情報連携が必要になります。宇陀けあネットの情報を、他職種で共有することで患者さんの健康推進につながっていくことが期待できます。

病院

病院以外での患者さんの情報を参考にすることにより、地域の医師の方々との医療連携がスムーズにできるようになりました。



宇陀市立病院

薬局

患者さんのお薬の情報が良くわかり、服薬指導や急な時の対応、禁忌薬の注意などができる情報システムだと思います。



くすのき薬局

診療所

コロナ禍で、密になることを避けなければならない中、ICTの活用で、多職種の方々と情報交換できることになり、密になることなく、診療連携が可能になりました。



福井療院

訪問看護

訪問看護中にも、医師からの指示や、患者さんに関わっている医療介護の方々の意見が確認できるので便利になりました。患者さんに関われる時間が増やすことができます。



宇陀訪問看護ステーション

Aging in place (エイジング・イン・プレイス)

住み慣れた地域で、その人らしく、最後まで快適に暮らす

市民の方が、多様な支援を利用して、生まれ育った地域で生活を継続できるように進められている地域包括ケアシステム。これをスムーズに進めていくために、宇陀けあネットが大きな役割を果たします。

地域包括ケアシステムとは
地域包括ケアシステムとは、高齢になって生活に変化があっても、切れ目なく必要な支援を受けながら、地域の中で自分らしい生活ができるよう医療、介護、予防、生活支援が適切に提供されるために整えられた体制です。医療、介護、福祉の強い連携や地域住民の協力によって、住民が人生の最後まで尊厳ある生活を持続されることを目指しています。

この宇陀地域においても、すべての方々を、できるだけこの地域に存在する医療、看護、介護、福祉などが対応して、どういう身体状態であっても、最期までこの地域で、生活することを支えていくために進められています。

